

基礎分野 13科目 13単位 (360時間)

看護の対象である人間、生命、人間を取り巻く環境に関する理解を深め、物事の本質を洞察し、倫理的な判断に基づき生活上の問題を解決できる力を養う。そして個人および家族も含めた個人の所属する集団の特性を理解し、人間のよりよいあり方を追求する姿勢を養う。

科学的思考の基盤

科目名	哲学 Philosophy			講師名	豊岡 めぐみ
学年	3年	講義時期	通年	単位・時間数	1単位 (30)

講義のねらい	看護は人間関係を基盤としており、また人の生死に関わるものである。常に人とは、看護とは、と自分の考えを追求していくための哲学的思考を学ぶ。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人の存在、人はいかに生きるべきかという問いを根底にもちながら、ものの本質、真実性の知を愛し求めていくことにより、自身のあり方を考える姿勢を身につける。 2. 価値観・人生観・死生観・看護観を迫及する思考を習慣化できる。 				
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 哲学とは何か — ものの本質とは何か？ 2. 生命倫理の諸問題 — 脳死と臓器移植、クローン、人工妊娠中絶、多胎妊娠 3. 功利主義 — われわれは何を選択すべきか？（行為における選択） 4. 人間とは何か — わたしとは何者か？ <ul style="list-style-type: none"> ○自分のことであるにもかかわらず、つきつめていくとわたしは一体何者なのかわからなくなるはずである。その理由を解明しながら、わたしについて、また他者について議論する。最終的に人間とはいかなるものかを総合的に吟味する。 5. 私と患者 — 患者との関係を考えてみよう 6. 精神と身体 — 西洋的なものの見方と東洋的なものの見方の差異について 7. 愛について — 恋愛を哲学的に考える 8. 生と死 — 映画鑑賞をしながら安楽死問題を考える 9. 雑誌分析 — 雑誌はどのように作られるのか？ <ul style="list-style-type: none"> ○雑誌、テレビ、ラジオなどメディアの意図とイデオロギーについて考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 哲学という根本的な学問を一緒に楽しく学んでいきましょう。 ノートをしっかりととりながら「論理的に考える」という姿勢を身につけていって下さい。 古代ギリシアの世界観から現代の問題（脳死や臓器移植の問題）まで、幅広いテーマを扱います。そのほか、恋愛についてや雑誌分析も行う予定です。</p> </div>				
評価方法	レポート評価および平常点	提出期日	3年次10～11月		
参考書	なし				
その他					

科学的思考の基盤

科目名	文章表現法 Writing Method		講師名	鎌倉 芳信
学年	2年	講義時期	後期	単位・時間数
				1単位 (30)

講義のねらい	看護の質の維持向上において、自己の考えを文章化する能力は非常に重要になる。基本的な読むこと、書くことの技術を学ぶ。そこから、論理的な思考の上に成り立つ文章構成能力を養う。		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 具体的・実践的な文章作成について学び、論理的かつ正確な文章を書くことができる。 2. 言語を正しく理解し使用することが、他者との人間関係の構築に不可欠であることを理解できる。 		
講義内容	<p>○基本的な文章表現力を身につける</p> <ol style="list-style-type: none"> ①適切な漢字、ひらがなの使い方 ②効果的な句読点の使い方 ③和語・漢語・外来語の使い分け ④話し言葉と書く言葉 ⑤さまざまな表現（慣用句、ことわざ） ⑥敬語の使い方 ⑦手紙の書き方 ⑧わかりやすく伝えるための理論や方法 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 はじめに言葉ありき。 言葉は人を育てます。美しい表現は他人を幸せにし、自分の人生を豊かにしてくれます。</p> </div>		
評価方法	課題（レポートなど）評価および小テスト	提出期日	
参考書	日本語表現&コミュニケーション ～社会を生きるための21ワーク～（実教出版）		
その他			

科学的思考の基盤

科目名	情報科学 Informasion Science	講師名	徳永 治久
学年	1年	講義時期	通年
		単位・時間数	1単位 (30)

講義のねらい	情報科学の基礎理論やコンピュータに関する基礎的知識を理解し、高度情報化社会の医療、看護に対応できる力を養う。		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. パソコンの基本的な操作ができる。 2. Word、Excel、PowerPointの操作ができる。 3. インターネットを活用し、必要な情報を得ることができる。 4. 情報の取り扱い方や統計学的処理方法の基礎を理解できる。 5. 医療現場におけるコンピューター導入の変遷と情報の管理、倫理について理解できる。 		
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. パソコンの基礎知識 起動の仕方 ゲームを通してマウスに慣れる 2. ワードプロの基礎 Windows word使用 文書作成・保存・印刷・罫線や図の挿入 3. 文書の印刷 4. 表計算 (関数・罫線処理) 5. パワーポイントの活用・作成方法 6. 医療現場で使用されるコンピュータシステムの基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> ①歴史・システムの種類と特徴 ②看護業務とコンピュータ 7. 業務でのコンピュータ使用時の注意点 <ol style="list-style-type: none"> ①情報の活用 ②インターネットの活用 ③電子メールの活用 <p style="text-align: center;">* 6, 7に関しては、単位認定を受けた学生も聴講してください。具体的な聴講の方法については、授業開始後連絡します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 医療現場では様々なコンピュータシステムが導入され、治療などに活用されています。看護師もパソコン操作や事務ソフトの使用が必須となってきました。本講義は、実技を中心に実践で役立つ基礎知識の習得を目指します。</p> </div>		
評価方法	実技試験	試験予定	1年次12月
参考書	なし		
その他			

人間と生活、社会の理解

科目名	心理学 Psychology		講師名	厚澤 祐太郎	
学年	1年	講義時期	前期	単位・時間数	1単位 (15)

講義のねらい	医療・看護の場で人との関わりを持つ際には、人の心や行動について理解することが求められる。本講義は、心理学の知見を学ぶことを通して、人の心と行動、および自分自身の心についての理解を深める事を目的とする。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療・看護の対象である人間の心について理解を深める。 2. 心の仕組みとはたらき、心の発達、心の適応に関する心理学の基礎的な知見を理解する。 			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感覚・知覚の心理 2. 学習の心理 3. 記憶の心理 4. 発達の心理 5. 人格の心理 6. 適応の心理 7. 医療と心理学 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 心は誰もが持つ身近なものでありながら、非常に複雑です。人の心はもちろん、自分の心でさえ、私たちはしばしば分からなくなります。心理学は、人が世界をどのように理解し、その世界で何を感じ、どのように行動するか、という視点から人間に対する理解を深める学問です。本講義を通して、心理学的に人を理解するというのはどのようなことなのかを学んで頂きたいと思えます。</p> </div>			
評価方法	レポート評価および平常点	提出期日	1年次7月	
参考書	なし			
その他				

人間と生活、社会の理解

科目名	人間関係論 Social Psychology			講師名	栗田 七重
学年	2年	講義時期	通年	単位・時間数	1単位 (30)

講義のねらい	看護は人間関係を基盤とする。看護のみならず日常の人間関係において、この科目で学んだ内容が活かせることをねらいとする。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の存在が他者の存在と無関係に成り立つものでないことを理解できる。 2. 人間関係の基礎や看護における人間関係について理解できる。 3. 看護者としてのカウンセリングの意義、役割について学ぶ。 				
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間存在と人間関係 2. コミュニケーションとは 3. 人間理解に関する研究と応用 <ol style="list-style-type: none"> ①社会心理学的研究 ②集団の中での行動パターン 4. カウンセリング 5. 保健医療チームの人間関係 <ol style="list-style-type: none"> ①保健医療チームの特徴 ②チームワークを促進する要因と阻害する要因 6. 闘病生活を支える人間関係 <p>◎講義の合間に、自己・他者理解を深めるようなワークを取り入れていく予定です。</p> 				
評価方法	レポート評価と平常点	提出期日	2年次12月		
参考書	なし				
その他					

人間と生活、社会の理解

科目名	教育学 Pedagogy			講師名	小澤 周三
学年	1年	講義時期	後期	単位・時間数	1単位 (30)

講義のねらい	人間にとっての教育の意義を理解し、看護の専門職者として日々学び続けることの重要性を認識できるようにする。また、教育学習心理や一般的な教育方法を学ぶことで、看護における指導技術が更に科学的根拠の上に展開できる素地を養う。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の原理が理解できる。 2. 人間形成における教育の意義や、社会の変化の中で果たすべき教育の役割・機能について理解できる。 3. 学習心理を踏まえた教育方法を理解し、看護の対象への効果的な指導技術の基礎的知識を身につけることができる。 				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護と教育 2. 教育の基本構造 3. 人間理解 4. 医療者の教化と形成 5. 教育の思想について 6. 看護倫理と法律について 7. 教育の社会的基礎（発達課題、発達達成に関わる諸問題、遊びのもつ意義） 8. 児童虐待 9. アンтроフォンピー医学 10. 学校教育法について <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 教育学といえば、堅苦しい感じを受けるかもしれませんが、何が正しく、何が善く、何が美しいのか、人生をいかに生きるべきか、その判断基準は何かなどについて、学問的に考察し、論じることは意外に楽しく、皆さんの好きなことです。自らの視野を広げるだけでなく、将来、他の人々の生活習慣の指導や助言をするうえでの能力を身につけるためにも大いに役立つものです。</p> </div>				
評価方法	レポート評価と平常点	提出期日	1年次2月		
参考書	現代教育学入門（勁草書房）				
その他	ビデオを通して考える時間があります。				
	講義時間の中でレポートを作成することがあります。				

人間と生活、社会の理解

科目名	社会学 Sociology			講師名	成田 恭隆
学年	3年	講義時期	通年	単位・時間数	1単位 (30)

講義のねらい	社会に起こっている事象に対し興味・関心を抱き、さまざまな角度から考える素地とする。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の社会構造や、社会的な人間行動、家族の機能・構造、高齢化という現象を統合的に分析し理解する姿勢を養うことができる。 2. 人間と社会との相互関係を理解し、起こっている現象をありのままに見つめる社会的な視点を身につけることができる。 				
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会学とは、社会事象と社会学 2. 集団の発生について 3. 社会集団と組織集団について 4. 家族について 家族の社会学的定義 5. 都市について 地域社会について 6. 生活の中の「労働」 7. 社会福祉と社会 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 社会構造の変化に伴う要因を様々な角度からとらえることにより、社会問題を考えてほしいと願います。注目されている社会問題についても講義で取り上げます。 授業における板書については、細かく書くことをせず、要点を記すのみです。講義を聞いて、自分で重要であると感じたことをノートとしてまとめることを習慣としてほしい。それは、板書事項を暗記し、試験を受けるのではなく、話を聴き、まとめ、理解することを要望するからです。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	3年次11月		
参考書	初めて学ぶ社会学 慶応義塾大学出版会				
その他					

人間と生活、社会の理解

科目名	生物学 Biology	講師名	神田 尚俊
学年	1年	講義時期	前期
		単位・時間数	1単位 (30)
講義のねらい	生物界には進化によって誕生した多様な生物種が存在し、ヒトを含めてその基本的構造や機能には共通点があり、一部の生物はヒトの病気の原因となる。この授業では生物の細胞の基本的構造と機能を学び、生命の仕組みを理解する。		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞の基本構造とその集合体である固体の構造と機能を理解する。 2. 遺伝子の機能と遺伝の仕組みを理解する。 3. 遺伝子レベルでみた生命の進化とその意味について理解する。 4. 受精卵が細胞分裂により固体を形成する発生過程を理解する。 5. 個体内部の恒常性構造と調節の仕組みを理解する。 6. 神経系やホルモンを介した刺激の情報伝達の仕組みを理解する。 		
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生物学で何を学ぶか 2. 生命の誕生とその進化 (ウイルスからヒトまで) 3. 細胞の進化とその構造と機能 4. 脊椎動物の体の構造とその機能 5. 生殖と発生：有性生殖と無性生殖、個体発生 6. 細胞分裂：体細胞分裂と減数分裂、染色体と染色体異常 7. 遺伝と遺伝子 ①メンデルの遺伝法則、遺伝情報 8. 遺伝と遺伝子 ②突然変異、分子遺伝学と遺伝病 9. 分子生物学：その手法と成果 (生命が分子レベルでどこまで明らかになったか) 10. 個体の調節 ①消化器、循環器、免疫系 11. 個体の調整 ②排泄器官、ホメオスタシスを維持する器官 12. 刺激の伝達と行動 ①刺激の種類と受容器 13. 刺激の伝達と行動 ②神経系と効果器、行動 14. 生物と環境：環境変化と生物、地球環境とその未来 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 現代は生命科学が急速な進歩を遂げつつあります。新たな発見により生物に対する情報量は増大しており、生物学の基礎知識は生命体としてのヒトの理解に役立ちます。授業を通して生物学的にみた「生命」とは何かを考えてください。</p> </div>		
評価方法	期末試験 (80%)、小テスト (10%)、課題レポート (10%)		
参考書	系統看護学講座「生物学」(医学書院)		
その他			

人間と生活、社会の理解

科目名	外国語 I (基礎英語) English I (General English)		講師名	丸山 理佳子	
学年	1年	講義時期	前期	単位・時間数	1単位 (30)

講義のねらい	社会や看護の国際化に対応するための基本的な英語力を、身近な英語を通して身につける。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎的な英語文献を読むことができる。 2. 英語の基礎力を伸ばす。 			
講義内容	日常生活や日常会話を中心としたテキストを用いて英文和訳、reading			
評価方法	筆記試験	試験予定	1年次12月	
参考書	My First Passport 1 work book (Oxford 出版)			
その他				

人間と生活、社会の理解

科目名	外国語Ⅱ (医学英語) English II (Medical Terminology)			講師名	溝尾 朗
学年	2年	講義時期	通年	単位・時間数	1単位 (30)

講義のねらい	社会や看護の国際化に対応するために、基礎的英語に加え、医学・看護英語能力を身につけ、実習において活用できることをねらいとする。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体表現、疾患に関する単語・薬・検査など医療に関する英単語を理解できる。 2. 医学所見、診断、治療に係る英単語、略語を理解できる。 				
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. カルテに記載される英単語・略語 代表的な疾患名、症状に関連した英単語・略語 2. 医療英語を中心としたテキストを用いて英文和訳、reading <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 「英語が苦手」という人もいると思いますが、旅行の話など取り入れ、英語に親しむ時間を設けています。医学英語がわかると、カルテを見たとき患者の状態が理解しやすくなり、実習が楽しくなります。毎回授業に出席し、単語帳を作成し、繰り返し見て覚えましょう。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	2年次12月		
参考書	Medical English Clinic センゲージラーニング株式会社				
その他	小テストをすることがあります。				

人間と生活、社会の理解

科目名	外国語Ⅲ（看護英語） English Ⅲ（Nursing Terminology）		講師名	芳賀 左代子
学年	3年	講義時期	通年	単位・時間数
				1単位（30）

講義のねらい	1. 専門領域の医学、看護の外国文献を読むことで、海外の医療情勢にも興味をもつことができ、常に最新の情報を得ようとする姿勢を養う。 2. 看護のあらゆる状況に応じた会話の実際を学び、看護に関する英会話能力を身につけ、国際化する医療に積極的に参画できる力を養う。
学習目標	1. 看護英会話に必要な専門語彙や表現を理解できる。 2. 想定した、患者へ主訴や症状を尋ねることができる。 3. 患者と対話ができる看護英語を修得できる。

講義内容			
回数	プログラム	宿題	5分間練習
1	オリエンテーション/how to prevent infection.	発話練習	発話練習
2	Phonics/発音記号/発音記号の読み方		
3	看護英単語/発話練習/Parts of the body.	単語暗記	単語暗唱/チェック
4	発話練習/看護英会話/Personal History.		
5	看護英会話/Vital Sign and Physical Exam/Test(検査)	センテンス暗記	会話暗唱/チェック
6	看護英会話/Paints, 英文解釈/痛み Current Medical English (Text使用)		
7	英文解釈/リハビリテーション(身体で学ぶ英語)		
8	英文解釈/Sudden Infant Death Syndrome/ SIDS (乳児突然死症候群)		
9	英文解釈/Breast Cancer (乳がん)		
10	英文解釈/Osteoporosis(骨粗しょう症)	英文訳/理解 医学英語暗記	読解力/チェック
11	英文解釈/Life-Style Related Disease (生活習慣病)		
12	英文解釈/Depression (うつ病)		
13	英文解釈/総復習		
14	HALLOWEEN/Tea Party : Alice in the wonderland.	仮装	

【担当講師からのメッセージ】

- ◎単語：英語授業運営にあたり、英語導入期には発話練習を主に行います。授業中に日本語と英語の発話の違いを習得し、自主学習で繰り返して単語の発話練習を行ってください。
★自宅学習で発話練習、復習を忘れずに行ってください。
- ◎第1回～4回目までリスニング練習と発話練習を重点に行いますので、この間に音の壁、単語の壁を超えるように心がけ、自宅学習ではセンテンスを発話し暗唱して下さい。
英語導入期は主に発話練習を行います。
- ◎第6回～13回までは長文読解：いよいよ英文解釈に入ります。この間に聴覚による理解も深められるよう努力して下さい。
ナースは理解した英文を会話上で直接患者さんに伝える機会が多くなります。そのためには英単語は単なる暗記にとどまらず発話でき、実践できるレベルが要求されます。目の前に患者さんがいることを想定し、そこにいる患者さんに自身をもって、英語で温かく接することができるまで練習してください。
- ◎一回一回の授業をパフォーマンスの場と考え、授業には受け身ではなく、積極的に参加してください。
授業初日から6回目までは特に復習に、そして英文解釈の授業からは予習に重点を置いてください。
- ◎最終日はハロウィーンレッスン若しくはアリスのティーパーティーを開催し、一緒に英語圏の行事に親しみましょう。
※毎授業開始時5分間は前回のポイント復習チェックをします。

評価方法	筆記試験	試験予定	3年次11月
参考書	学生のためのカレントメディカルイングリッシュ第4版医学書院		
その他	時間が許す場合、ビデオを通して学習する時間があります。		

人間と生活、社会の理解

科目名	保健体育 Health and Physical Education			講師名	いまの 今野 廣隆
学年	1年	講義時期	通年	単位・時間数	1単位 (30)

講義のねらい	スポーツを通して健康の維持増進ができる。また、協調性を養い、心身の安定を目指すことをねらいとする。
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の基礎体力を知る。 2. スポーツを通して仲間との協力を図り、集団での規律ある行動がとれる。 3. 健康への意識を高めることができる。
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 体力測定 2. ストレッチ、マラソン、ウォーキング 3. バレーボール、ユニホック、パトミントン、卓球 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 ヒトが幸福である条件のひとつとして、心とからだ健康であること。授業では、体調管理、マナー、礼儀等を大切にしながら、身体に有効的な楽しい体育実技を实践する。 私は小食、粗食、雑食を好み、冬も冷水浴をして、コタツで丸くなるネコより、外で走り回る犬のように、省エネなからだづくりをめざしている。</p> </div>
評価方法	平常点
参考書	なし
その他	運動ができる服装、履物が必要です。

人間と生活、社会の理解

科目名	音楽 Music			講師名	丸山 ゆかり
学年	1年	講義時期	通年	単位・時間数	1単位 (15)

講義のねらい	音楽を通して、豊かな感性、協調性を養う。
学習目標	1. 実習でのレクリエーション活動、学校行事等で音楽を活用できる。
講義内容	<p>1. 校歌、合唱 2. ハンドベル、リズムワーク等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 戴帽式、卒業式などにおいて歌われる校歌や代々歌い継がれている合唱曲を通して、皆さんの心の結びつきが生まれることを願います。 また、よく知られている日本のメロディーをベルで表現したり、リズムワークを授業に挿むことで、気持ちのリフレッシュができる時間を目指します。</p> </div>
評価方法	平常点
参考書	なし
その他	<p>1回の講義時間は1/2コマ（45分間）です。場所は4階講堂です。 卒業式前は、数回他学年と合同で授業を行います。</p>